

9-1 経営トップは、リーダーシップを最大限発揮し、経営理念や行動規範の明確化、社内への徹底等にあたる。

《基本的な心構え・姿勢》

経営トップは、国民からの信頼確保がビジネスの基本であることを肝に銘じ、そのために全力をあげなくてはならない。社会全体にとって有用な企業を作り上げるといふ高い志を自ら示し、連結子会社を含めグループ内の従業員一人ひとりに至るまで、その精神を浸透させることが必要である。経営者としての責任を果たす覚悟が必要であり、従業員の行動も「知らなかった」では済まされない。そうしたトップの真摯な姿勢が国民から信頼される企業を作り上げる。

《具体的アクション・プランの例》

- (1) 経営トップは、機会ある毎に企業行動憲章や企業の行動規範・行動規準および各種法令の遵守の重要性を訴える。
  - ① 経営トップは、以下を活用し、きめこまかく、また、継続的に企業倫理・企業行動の重要性と基本姿勢の周知徹底を図る。
    - (イ) 社内報
    - (ロ) 社内イントラネット
    - (ハ) 小冊子
    - (ニ) ポスター など
  - ② 経営トップは、年頭挨拶、経営方針の発表、入社式等の重要な社内行事の際に、企業倫理・企業行動の重要性と基本姿勢を訴える。
  - ③ 毎年10月の「企業倫理月間」の機会を活用する。
- (2) 経営トップは、率先垂範により、役員、従業員の倫理観を涵養する。
  - ① 経営トップは、常に自ら企業倫理・企業行動のあるべき姿を体現する。
  - ② 経営トップは、自らの姿勢や日常の言動が、役員、従業員の行動に少なからぬ影響を与えることを認識する。
- (3) 経営トップは、新たな行動規範・諸規定の作成、あるいは既存のもの点検・見直しにリーダーシップを発揮する。
  - ① 経営トップは、社内各部門での企業行動に関する議論を喚起する。
  - ② 経営トップは、他社で生じた事件等が自社でも起こり得ることを想定する。
- (4) 経営トップは、企業倫理の推進や法令遵守にとどまらず、社会的責任の遂行にリーダーシップを発揮する。